

東京国立近代美術館 収集の概要（令和5年度）

東京国立近代美術館本館では、19世紀末から今日までの日本画、洋画、彫刻・立体造形、版画、水彩・素描、写真、映像作品を、日本を中心に、日本に影響を与えた海外作家の作品も合わせ収集している。

近年重点的に取り組む女性作家の作品の充実として、油彩では桂ゆき（ユキ子）《秋》（1955年）、毛利眞美《裸婦（B）》（1957年）、写真では今井壽恵《「オフィリア」その後》（1960年）などを購入し、着実な成果をあげた。同じく近年計画的に取り組む1980～90年代作品の収集として、油彩では堂本右美《無題》（1990年）、彫刻では日比野克彦《PRESENT BOX》（1982年）、写真では杉本博司《劇場》シリーズ（1977～80年）など重要作家の代表作を購入した。また大正～昭和を代表する挿絵画家の一人・小村雪岱《邦枝完二著「江戸役者」挿絵》（1932年）や、棟方志功による谷崎潤一郎『鍵』の挿絵版画《鍵板画冊》（1956年）など、美術史上の重要作の購入に成功したことも大きな成果である。

東京国立近代美術館 美術作品購入一覧（令和5年度）





=特別予算購入

1		<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : ホンマタカシ(1962-)</p> <p>作 品 名 : 「その森の子供」よりFukushima #1ほか全12点</p> <p>制 作 年 : 2012年ほか</p> <p>材 質・形 状 : 発色現像方式印画、額装（12点組）</p> <p>寸 法 : 100.0×116.6cmほか</p> <p>解 説 : 原発事故後の福島を起点とし、欧州及び北米の森へと展開されたキノコをめぐる連作。放射性物質という不可視の存在をめぐる試みであり、原発事故という同時代の社会が経験した災禍や、環境・生態系についての問いを提示する作品ともなっている。</p> <p>取 得 額 : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>
2		<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 米田知子(1965-)</p> <p>作 品 名 : 「Scene」より 畑－ソナムの戦いの最前線であった場所、フランス</p> <p>制 作 年 : 2002年</p> <p>材 質・形 状 : 発色現像方式印画、額装 ed. 2/5</p> <p>寸 法 : 75.5×96.0cm</p> <p>解 説 : 戦争など歴史的できごとの現場の風景をめぐる連作。作者米田知子の代表作であり、場の固有の文脈や記憶を参照しつつ、可視と不可視をめぐる鑑賞者の想像力に働きかける試みとして国内外で評価されている。</p> <p>取得額（円） : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>
3		<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 米田知子(1965-)</p> <p>作 品 名 : 「Scene」より 丘－沖縄戦終焉の地、摩文仁、沖縄</p> <p>制 作 年 : 2002年</p> <p>材 質・形 状 : 発色現像方式印画、額装 ed. 1/5</p> <p>寸 法 : 75.5×96.0cm</p> <p>解 説 : 戦争など歴史的できごとの現場の風景をめぐる連作。作者米田知子の代表作であり、場の固有の文脈や記憶を参照しつつ、可視と不可視をめぐる鑑賞者の想像力に働きかける試みとして国内外で評価されている。</p> <p>取得額（円） : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>
4		<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 米田知子(1965-)</p> <p>作 品 名 : 「Scene」より 道－サイパン島在留邦人玉砕があった崖に続く道</p> <p>制 作 年 : 2003年</p> <p>材 質・形 状 : 発色現像方式印画、額装 ed. 4/5</p> <p>寸 法 : 75.5×96.0cm</p> <p>解 説 : 戦争など歴史的できごとの現場の風景をめぐる連作。作者米田知子の代表作であり、場の固有の文脈や記憶を参照しつつ、可視と不可視をめぐる鑑賞者の想像力に働きかける試みとして国内外で評価されている。</p> <p>取得額（円） : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>

<p>5</p> 	<p>種 別 : 写真 作 者 名 : 米田知子(1965-) 作 品 名 : 「Scene」より 地雷原―地雷が埋められたサッカー場、サラエボ 制 作 年 : 2004年 材 質・形 状 : 発色現像方式印画、額装 ed. 4/5 寸 法 : 75.5×96.0cm 解 説 : 戦争など歴史的できごとの現場の風景をめぐる連作。作者米田知子の代表作であり、場の固有の文脈や記憶を参照しつつ、可視と不可視をめぐって鑑賞者の想像力に働きかける試みとして国内外で評価されている。</p>	<p>取得額(円) : - 展 示 予 定 : 計画中</p>
<p>6</p> 	<p>種 別 : 写真 作 者 名 : 米田知子(1965-) 作 品 名 : 「Scene」より 国境―ヒズボラ拠点村より望むイスラエル、レバノン南部・イスラエル国境地帯 制 作 年 : 2004年 材 質・形 状 : 発色現像方式印画、額装 ed. 1/5 寸 法 : 75.5×96.0cm 解 説 : 戦争など歴史的できごとの現場の風景をめぐる連作。作者米田知子の代表作であり、場の固有の文脈や記憶を参照しつつ、可視と不可視をめぐって鑑賞者の想像力に働きかける試みとして国内外で評価されている。</p>	<p>取得額(円) : - 展 示 予 定 : 計画中</p>
<p>7</p> 	<p>種 別 : 写真 作 者 名 : 米田知子(1965-) 作 品 名 : 「Scene」より 線路―満州事変勃発となる関東軍が爆破を仕掛けた線路を臨む、瀋陽 制 作 年 : 2007年 材 質・形 状 : 発色現像方式印画、額装 ed. 2/5 寸 法 : 75.5×96.0cm 解 説 : 戦争など歴史的できごとの現場の風景をめぐる連作。作者米田知子の代表作であり、場の固有の文脈や記憶を参照しつつ、可視と不可視をめぐって鑑賞者の想像力に働きかける試みとして国内外で評価されている。</p>	<p>取得額(円) : - 展 示 予 定 : 計画中</p>
<p>8</p> 	<p>種 別 : 写真 作 者 名 : 米田知子(1965-) 作 品 名 : 「Scene」より 70年目の8月6日、広島 制 作 年 : 2015年 材 質・形 状 : 発色現像方式印画、額装 ed. 2/5 寸 法 : 75.5×96.0cm 解 説 : 戦争など歴史的できごとの現場の風景をめぐる連作。作者米田知子の代表作であり、場の固有の文脈や記憶を参照しつつ、可視と不可視をめぐって鑑賞者の想像力に働きかける試みとして国内外で評価されている。</p>	<p>取得額(円) : - 展 示 予 定 : 計画中</p>
<p>9</p>	<p>種 別 : 日本画 作 者 名 : 速水御舟(1894-1935) 作 品 名 : 宮津 制 作 年 : 1915年 材 質・形 状 : 絹本彩色 軸 寸 法 : 140.0 × 49.3 cm 解 説 : 御舟の画業初期の実験的意欲作。取材地は京都府宮津で、海と対岸を背景に漁師小屋と網干が描かれている。68年ぶりに所在が確認された優品である。</p>	<p>取得額(円) : 22,000,000円 展 示 予 定 : 展示予定(所蔵作品展; 2024年11月-12月)</p>

10	種別 : 日本画 作者名 : 秦テルヲ(1887-1945) 作品名 : 玉乗り 制作年 : 1915年頃 材質・形状 : 紙本彩色 軸 寸法 : 135.0 × 33.4 cm 解説 : 秦が吉原研究を思い立ち東京に移住した頃の作品で、「江川玉乗り大盛館」の玉乗りの女性が描かれる。大正時代特有のロマンチズムと、退廃的雰囲気漂わせた佳作。 取得額(円) : 1,800,000円 展示予定 : 計画中	
11	種別 : 日本画 作者名 : 秦テルヲ(1887-1945) 作品名 : 京洛追想画譜 制作年 : 1939年頃 材質・形状 : 紙本彩色 画帖 13面(+序1面) 寸法 : 各24.2 × 34.4 cm 解説 : 祇園の夜桜、花畑を歩く白川女、宇治の茶摘みなど、制作時すでに失われつつあった京都の風物が、細やかな筆遣いとみずみずしい色彩で描き出された画帖。 取得額(円) : 2,200,000円 展示予定 : 2024年度所蔵作品展に出品 ; 2024年4月-8月	
12	 種別 : 油彩・その他 作者名 : マックス・エルンスト (1891-1976) 作品名 : 砂漠の花 (砂漠のバラ) 制作年 : 1925年 材質・形状 : 油彩、鉛筆・キャンバス 寸法 : 75.0 × 59.0 cm 解説 : エルンストによるシュルレアリスム盛期に制作された油彩の優品。本作図版が掲載された書籍が、日本のシュルレアリスム受容に大きな役割を果たした点からも重要な作品。 取得額(円) : 396,047,400円 展示予定 : 展示予定 (所蔵作品展 ; 2024年9月-12月)	
13	種別 : 油彩・その他 作者名 : 桂ゆき (ユキ子) (1913-1991) 作品名 : 秋 制作年 : 1955年 材質・形状 : 油彩・キャンバス 寸法 : 53.0 × 65.0 cm 解説 : 桂は、戦前と戦後を繋ぐ女性芸術家のパイオニア的存在。直接コラージュをすることなしに、コラージュ的な密度のある空間を作り出した本作は、桂の創作のエッセンスと独自の構成が光る佳作である。 取得額(円) : 2,200,000円 展示予定 : 計画中	
14	種別 : 油彩・その他 作者名 : 毛利眞美 (1926-2022) 作品名 : [無題] 制作年 : 1950-55年頃 材質・形状 : 油彩・キャンバス 寸法 : 116.5 × 91.0 cm 解説 : 対象を装飾的に色面分割する手法など、毛利が師事したアンドレ・ロートからの影響を感じさせる作品。戦後最初期に渡仏し、直接前衛傾向に触れた女性画家は数少なく、時代を物語る作例として貴重である。 取得額(円) : 1,650,000円 展示予定 : 計画中	

15		<p>種別：油彩・その他 作者名：毛利眞美（1926-2022） 作品名：裸婦（B） 制作年：1957年 材質・形状：油彩・キャンバス 寸法：130.0 × 89.0 cm 解説：毛利が再渡仏後に展開した、単色の背景に白色の女性ヌードが浮かぶスタイルの一点。ナイフで絵具を盛り上げマティエールを強調する表現は、同時期のアンフォルメル運動に触発されたものと思しい。 取得額（円）：1,650,000円 展示予定：計画中</p>
16		<p>種別：油彩その他 作者名：安宅安五郎（1883-1960） 作品名：白蓮樹 制作年：1919年 材質・形状：油彩・キャンバス 寸法：165.0 × 70.0 cm 解説：第1回帝展特選受賞作。水辺に咲く白木蓮が描かれる。自然を細密に描出し、精神性を宿らせるその表現は、草土社が同時代美術に与えた影響を今日に伝える。安宅の渡欧以前の作品で所在が判明した希少な作例。 取得額（円）：4,500,010円 展示予定：計画中</p>
17		<p>種別：油彩その他 作者名：椿貞雄（1896-1957） 作品名：晴子像 制作年：1938年 材質・形状：油彩・キャンバス 寸法：33.7 × 25.8 cm 解説：椿は岸田劉生の麗子像に触発され、多くの少女像に取り組んでいる。本作は小品ながら、セーターの毛羽立った繊維、睫毛の一本一本など、その描写は精緻に富む。 取得額（円）：1,900,030円 展示予定：計画中</p>
18		<p>種別：油彩その他 作者名：堂本右美（1960-） 作品名：無題 制作年：1990年 材質・形状：油彩・キャンバス 寸法：182.0 × 227.5 cm 解説：佐賀町エキジビット・スペースでの初個展出品作。モチーフや「背景の色彩と手前の黒い線」といった構造はその後の展開を予見させ、国内の絵画動向を牽引する一人となっていく堂本の出発点として貴重である。 取得額（円）：- 展示予定：2024年度所蔵作品展に出品；2024年4月-8月</p>
19		<p>種別：油彩その他 作者名：太郎千恵蔵（1962-） 作品名：戦争（ピンクは血の色） 制作年：1996年 材質・形状：油彩、アクリリック、インク、プラスチックシート・パネル 寸法：235.0 × 235.0 cm 解説：作家の初期を代表する作品。サブカルの直接的引用、アニメを通じて発達した戦闘イメージ、PC上のマルチウィンドウという視覚環境の応用など、同時代的な特徴を逸早く取り入れた例として重要である。 取得額（円）：- 展示予定：計画中</p>

<p>20</p> 	<p>種 別 : 油彩その他 作 者 名 : 中村宏 (1932-) 作 品 名 : 空襲 1945 制 作 年 : 2022年 材 質・形 状 : アクリリック・キャンバス 3点組 寸 法 : 各65.2 × 53.0 cm 解 説 : 中村が自身の戦争体験を初めて作品化したもので、1950年代に手掛けたルポルタージュ絵画の延長上にある。制作動機のひとつにロシアのウクライナ侵攻があり、回顧にとどまらず、同時代的問題にも接続される作品。 取得額 (円) : - 展 示 予 定 : 2024年度所蔵作品展に出品 ; 2024年4月-8月</p>	
<p>21</p>	<p>種 別 : 版画 作 者 名 : 棟方志功 (1903-1975) 作 品 名 : 鍵板画柵 制 作 年 : 1956年 材 質・形 状 : 木版 (58面) 画帖 (2点) 寸 法 : 各11.4-17.2 × 21.0-35.0 cm 解 説 : 谷崎潤一郎の小説『鍵』の挿絵として制作された作品。白黒のコントラストを存分に活かした画面は、「映像的」と評される谷崎の文章とあいまって相乗効果を上げている。 取得額 (円) : 11,650,001円 展 示 予 定 : 計画中</p>	
<p>22</p>	<p>種 別 : 素描 作 者 名 : 小村雪岱 (1887-1940) 作 品 名 : 邦枝完二著「江戸役者」挿絵 制 作 年 : 1932年 材 質・形 状 : 墨・紙 (70図) 彩色・紙 (見返し2図) 画帖 寸 法 : 各15.0 × 23.4 cm 見返し 各 19.6 × 54.7 cm 解 説 : 邦枝完二による新聞連載小説「江戸役者」に雪岱が寄せた挿絵全70図。肥瘦のないシャープな描線、白黒のコントラストが明快な画面処理、俯瞰の構図等「雪岱調」をよく表す。 取得額 (円) : 8,360,000円 展 示 予 定 : 2024年度所蔵作品展に出品 ; 2024年4月-8月</p>	
<p>23</p> 	<p>種 別 : 彫刻 (立体造形) 作 者 名 : 日比野克彦 (1958-) 作 品 名 : APRIL 制 作 年 : 1980年 材 質・形 状 : 段ボール、アクリリック、色鉛筆、テープ、値札、紙、板 寸 法 : 50.0 × 39.0 cm 解 説 : 日比野は、大量生産・大量消費社会において、段ボールを用いた軽やかで斬新な作品により、80年代に大きな注目を集めた。カレンダーをモチーフにした本作は、大学3年の課題制作で、初のダンボール作品。 取得額 (円) : - 展 示 予 定 : 計画中</p>	
<p>24</p> 	<p>種 別 : 彫刻 (立体造形) 作 者 名 : 日比野克彦 (1958-) 作 品 名 : BOEING 制 作 年 : 1981年 材 質・形 状 : 段ボール、アクリリック、色鉛筆、厚紙 寸 法 : 60.5 × 73.0 cm 解 説 : 日比野は、大量生産・大量消費社会において、段ボールを用いた軽やかで斬新な作品により、80年代に大きな注目を集めた。本作は、日比野作品の代表的なモチーフの一つ飛行機が登場する一作。 取得額 (円) : - 展 示 予 定 : 計画中</p>	

<p>25</p> 	<p>種別：彫刻（立体造形）</p> <p>作者名：日比野克彦（1958-）</p> <p>作品名：PRESENT BOX</p> <p>制作年：1982年</p> <p>材質・形状：段ボール、アクリリック、色鉛筆、厚紙、テグス</p> <p>寸法：44.3 × 24.0 × 29.2 cm</p> <p>解説：日比野は、大量生産・大量消費社会において、段ボールを用いた軽やかで斬新な作品により、80年代に大きな注目を集めた。「PRESENT」は作者にとって重要なコンセプトで、以降の作品タイトルにも多くみられる。</p> <p>取得額（円）：-</p> <p>展示予定：計画中</p>	
<p>26</p> 	<p>種別：彫刻（立体造形）</p> <p>作者名：日比野克彦（1958-）</p> <p>作品名：RED HIGH HEELS</p> <p>制作年：1982年</p> <p>材質・形状：段ボール、アクリリック、色鉛筆、厚紙</p> <p>寸法：72.8 × 51.5 cm</p> <p>解説：日比野は、大量生産・大量消費社会において、段ボールを用いた軽やかで斬新な作品により、80年代に大きな注目を集めた。本作は、パルコのポスター《THE SHOES. VERY PARCO.》のために制作された。</p> <p>取得額（円）：-</p> <p>展示予定：計画中</p>	
<p>27</p> 	<p>種別：彫刻（立体造形）</p> <p>作者名：日比野克彦（1958-）</p> <p>作品名：SEWING SCHOOL</p> <p>制作年：1983年</p> <p>材質・形状：段ボール、アクリリック、色鉛筆、墨、紙</p> <p>寸法：89.8 × 69.9 cm</p> <p>解説：日比野は、大量生産・大量消費社会において、段ボールを用いた軽やかで斬新な作品により、80年代に大きな注目を集めた。マティスを敬愛する日比野が、絵画的な構図や色彩を試みるようになった時期の作品。</p> <p>取得額（円）：-</p> <p>展示予定：計画中</p>	
<p>28</p> 	<p>種別：彫刻（立体造形）</p> <p>作者名：日比野克彦（1958-）</p> <p>作品名：ELECTRIC GUITAR</p> <p>制作年：1986年</p> <p>材質・形状：段ボール、厚紙、木、針金、釘、金属板、新聞、紙、墨、凧糸</p> <p>寸法：68.0 × 23.0 × 8.0 cm</p> <p>解説：日比野は、大量生産・大量消費社会において、段ボールを用いた軽やかで斬新な作品により、80年代に大きな注目を集めた。ギターをかたどった本作など、音楽もまた日比野にとって重要なモチーフである。</p> <p>取得額（円）：-</p> <p>展示予定：計画中</p>	
<p>29</p> 	<p>種別：彫刻（立体造形）</p> <p>作者名：太郎千恵蔵（1962-）</p> <p>作品名：T-555P</p> <p>制作年：1993年</p> <p>材質・形状：布、金属、モーター付き台車 2点組</p> <p>寸法：各67.5 × 46.0 × 39.0 cm</p> <p>解説：子供服と台車が組み合わされ、展示室内を自動で動き回るシリーズの一点。ポスト・ヒューマン」展（1992年）など国内外の展覧会で紹介され、作者の代名詞的な作品として評価された。</p> <p>取得額（円）：-</p> <p>展示予定：計画中</p>	

30	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [1] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 29.2×19.8 (30.3×25.1) cm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	
31	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [2] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 18.8×28.2 (25.1×30.4) cm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	
32	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [3] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 28.2×18.7 (30.5×25.2) mm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	
33	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [4] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 19.8×29.2 (30.2×25.1) cm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	
34	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [5] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 19.9×29.0 (25.1×30.2) cm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	

35	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [6] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 18.8×28.3 (25.2×30.5) cm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	
36	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [7] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 19.0×29.2 (25.1×30.3) cm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	
37	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [8] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 29.0×19.8 (30.3×25.1) cm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	
38	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [9] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 29.2×19.8 (30.3×25.1) cm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	
39	種別 : 写真 作者名 : 中平卓馬 (1938-2015) 作品名 : 「大和南限」より [10] 制作年 : 1976年 材質・形状 : ゼラチン・シルバー・プリント 寸法 : 28.2×18.8 (30.4×25.1) cm 解説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。 取得額 (円) : 1,100,000円 展示予定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品 : 2024年2月-4月 (会期中中に収蔵)	

40		<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 中平卓馬 (1938-2015)</p> <p>作 品 名 : 「大和南限」より [11]</p> <p>制 作 年 : 1976年</p> <p>材 質・形 状 : ゼラチン・シルバー・プリント</p> <p>寸 法 : 28.3×18.6 (30.6×25.1) cm</p> <p>解 説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。</p> <p>取得額 (円) : 1,100,000円</p> <p>展 示 予 定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品:2024年2月-4月 (会期途中で収蔵)</p>
41		<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 中平卓馬 (1938-2015)</p> <p>作 品 名 : 「大和南限」より [12]</p> <p>制 作 年 : 1976年</p> <p>材 質・形 状 : ゼラチン・シルバー・プリント</p> <p>寸 法 : 19.8×29.1 (25.1×30.2) cm</p> <p>解 説 : 『流動』1976年3月号掲載の「大和南限」と題する連作。南西諸島から近代国家としての日本の枠組みを問い直すという構想にもとづき展開された中平の新たな実践として注目される。希少なヴィンテージ・プリントとしても重要である。</p> <p>取得額 (円) : 1,100,000円</p> <p>展 示 予 定 : 企画展「中平卓馬 火一氾濫」に出品:2024年2月-4月 (会期途中で収蔵)</p>
42		<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 杉本博司 (1948-)</p> <p>作 品 名 : パレス、ニュージャージー州</p> <p>制 作 年 : 1977年</p> <p>材 質・形 状 : ゼラチン・シルバー・プリント、額装 ed. 6/25</p> <p>寸 法 : 42.3×54.5 (50.8×61.0) cm</p> <p>解 説 : 本作は、〈ジオラマ〉、〈海景〉とともに初期三部作に位置づけられる〈劇場〉シリーズのうちの一点。杉本の日本国内での評価を確立した個展に出品したプリントという点も貴重である。</p> <p>取得額 (円) : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>
43		<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 杉本博司 (1948-)</p> <p>作 品 名 : エルムウッド、ニュージャージー州</p> <p>制 作 年 : 1977年</p> <p>材 質・形 状 : ゼラチン・シルバー・プリント、額装 ed. 6/25</p> <p>寸 法 : 42.3×54.5 (50.8×61.0) cm</p> <p>解 説 : 本作は、〈ジオラマ〉、〈海景〉とともに初期三部作に位置づけられる〈劇場〉シリーズのうちの一点。杉本の日本国内での評価を確立した個展に出品したプリントという点も貴重である。</p> <p>取得額 (円) : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>
44		<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 杉本博司 (1948-)</p> <p>作 品 名 : マリオン・パレス、オハイオ州</p> <p>制 作 年 : 1980年</p> <p>材 質・形 状 : ゼラチン・シルバー・プリント、額装 ed. 1/25</p> <p>寸 法 : 42.3×54.5 (50.8×61.0) cm</p> <p>解 説 : 本作は、〈ジオラマ〉、〈海景〉とともに初期三部作に位置づけられる〈劇場〉シリーズのうちの一点。杉本の日本国内での評価を確立した個展に出品したプリントという点も貴重である。</p> <p>取得額 (円) : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>

45 	<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 杉本博司 (1948-)</p> <p>作 品 名 : オハイオ・シアター、オハイオ州</p> <p>制 作 年 : 1980年</p> <p>材 質・形 状 : ゼラチン・シルバー・プリント、額装 ed. 12/25</p> <p>寸 法 : 42.3×54.5 (50.8×61.0) cm</p> <p>解 説 : 本作は、〈ジオラマ〉、〈海景〉とともに初期三部作に位置づけられる〈劇場〉シリーズのうち的一点。杉本の日本国内での評価を確立した個展に出品したプリントという点も貴重である。</p> <p>取得額 (円) : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>
46 	<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 杉本博司 (1948-)</p> <p>作 品 名 : 北太平洋、岩手</p> <p>制 作 年 : 1986年</p> <p>材 質・形 状 : ゼラチン・シルバー・プリント、額装 ed. 4/25</p> <p>寸 法 : 42.3×54.5 (50.8×61.0) cm</p> <p>解 説 : 本作は、〈ジオラマ〉、〈劇場〉とともに初期三部作に位置づけられる〈海景〉シリーズのうち的一点。杉本の日本国内での評価を確立した個展に出品したプリントという点も貴重である。</p> <p>取得額 (円) : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>
47 	<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 杉本博司 (1948-)</p> <p>作 品 名 : イオニア海、サンタ・チェザーレア</p> <p>制 作 年 : 1990年</p> <p>材 質・形 状 : ゼラチン・シルバー・プリント、額装 ed. 1/25</p> <p>寸 法 : 42.3×54.5 (50.8×61.0) cm</p> <p>解 説 : 本作は、〈ジオラマ〉、〈劇場〉とともに初期三部作に位置づけられる〈海景〉シリーズのうち的一点。杉本の日本国内での評価を確立した個展に出品したプリントという点も貴重である。</p> <p>取得額 (円) : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>
48 	<p>種 別 : 写真</p> <p>作 者 名 : 杉本博司 (1948-)</p> <p>作 品 名 : 南太平洋、テアライ</p> <p>制 作 年 : 1991年</p> <p>材 質・形 状 : ゼラチン・シルバー・プリント、額装 ed. 1/25</p> <p>寸 法 : 42.3×54.5 (50.8×61.0) cm</p> <p>解 説 : 本作は、〈ジオラマ〉、〈劇場〉とともに初期三部作に位置づけられる〈海景〉シリーズのうち的一点。杉本の日本国内での評価を確立した個展に出品したプリントという点も貴重である。</p> <p>取得額 (円) : -</p> <p>展 示 予 定 : 計画中</p>
ほか37点／計85点 購入総額 : 540,265,141円	